

令和4年度 日本大学危機管理学部 個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 准教授

氏名： 山下 博之

<p>研究課題名</p>	<p>災害復興政策の終了に関する基礎研究</p>
<p>研究目的及び 研究概要</p>	<p>復興を終えることはどのような時に可能なのだろうか、また、復興事業の終え方にはどのような選択肢が考えられるのか、そして、選択肢に応じてどのような課題が見られるのか。これら災害復興の終え方には、いまだ把握されていない問題が少なくない。そこで2022年度は、2021年度に引き続き復興事業の終了に関する基礎的な研究を実施する。具体的には、過去に発生した災害の復興事業の終了について実態を把握するとともに、公共政策学の中の「政策終了論」との適合性について理論的な検討を行う。</p>
<p>研究実績の概要</p> <p>研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等</p>	<p>1. 研究の進捗状況</p> <p>(1) 復興事業の終了に関するデータベースの拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き復興事業を終えた災害として阪神・淡路大震災および新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震に着目し、前年度に引き続き復興事業に関する新聞記事（朝日新聞、日経新聞、読売新聞）を収集、データベースに加えた。 ・前年度に引き続き、復興事業の終了に関する書籍・論文等についてCiNii、GoogleScholar等の検索エンジンを用いて調査し、データベースに加えた。 <p>(2) 復興終了に関するヒアリング調査</p> <p>神戸市へのヒアリング調査を実施した（2022年9月）。 （ゼミ合宿の一環として実施したため研究費は未執行）</p> <p>(3) 復興事業の終了に関するアンケート調査</p> <p>災害復興に関する地域コミュニティの備えやネットワークに着目し、世田谷区の町会・自治会に対するアンケート調査を実施した（2023年3月）。</p> <p>2. 得られた成果</p> <p>(1) データベースに新たに熊本地震に関する新聞記事を加え、阪神・淡路大震災や新潟中越地震、東日本大震災についても、新たに見つけた新聞記事や論文等をデータベースに追加した。</p> <p>(2) アンケート調査によって、災害復興に関する世田谷区の町会・自治会からの回答を得ることができた。</p> <p>3. 今後の課題</p> <p>(1) アンケート調査で得られた回答の回収が済んでおらず、回収が終了次第集計作業を進める。また、アンケート調査の結果は、防災関連の学会等を通じて今年度中に公表する予定である。</p> <p>(2) 今年度実施したアンケート調査は世田谷区に限定したものだったが、引き続き他の特別区でも実施する。</p> <p>4. 研究実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山下 博之「学修効果はどう変わったのか？～防災政策関連科目を事例として～」日本臨床政治学会2022年度・山形大会 第1部研究セッション『コロナ禍と政治学』2022年9月3日 山形大学。 ・山下 博之「業務継続管理のすゝめ」八王子市『令和4年度 八王子市災害対策本部運営訓練』（2022年4月22日）。 ・山下 博之「大学等におけるBCPの必要性と策定・運用について」大学コンソーシアム八王子事務局『令和4年度 大学等防災対策連絡会』（2023年3月15日）。